



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薗町長屋1963
(株)エホ*リュ*ション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)
E-mail 3ctsumugi@gmail.com
<https://3ctsumugi.wixsite.com/top-page/>

今年の母の日は、5月12日です。子どもの日は5月5日と決まっていますが、母の日は5月の第二日曜日となっているので、毎年変動します。

そもそも、母の日はアメリカを起源として1900年代初頭に始まり、世界各国に広まったそうです。アメリカの女性教師が、自分の教会学校の教師であった母を偲び、教会で記念会を開いてカーネーションを贈ったのが始まりといわれています。その追悼式を行った5月の第二日曜日を「母の日」と定めて、アメリカの祝日になりました。

日本では、第二次世界大戦後に、GHQが日本でも普及させようとして、日本国民にも認知されていったと言われています。当初は、日本の「母の日」は、皇后の誕生日として3月6日としていましたが、1949年に正式に「母の日」が制定され、アメリカにならうカタチで5月の第二日曜日に行われるようになりました。

世界では母の日は、5月の第一日曜日や最後の日曜日などさまざまのようです。私たちが、なにげなく迎える記念日の由来を考えてみることも必要かもしれませんね。

ちなみに「父の日」は6月の第三日曜日で、やはり発祥はアメリカだそうです。

母や父に感謝する習慣は、万国共通良いことだと思いますが、何でも右へ倣え的な歴史は、なにか複雑な感を否めませんね💧

会員のみなさんの活動、近況をご紹介



5月8日、鳥羽市の「戸田家」で従業員のみなさんを対象に「市民救命士養成講座」が試行されました

ホテル業は、宿泊いただいているお客様の救急救命にかかるトラブルに対応する責任と使命がある。そこで、基礎的な応急処置が出来るよう従業員教育を行いたい、という鳥羽市の老舗ホテル戸田家の寺田社長の思いに呼応し、鈴鹿医療科学大学救急救命学科の神藏教授による応急手当講座が試験的に実施されました。

鳥羽市での救急車出動件数は、一昨年で約1500件強、うち81%が急病や負傷だそうです。観光客などホテルに宿泊されている皆さんの万一の病気やケガなどから傷病者を正しく救助し、医師や救急隊などに引き継ぐまでの一次救急措置や応急手当を社員のみなさんが学ぶことはとても意義あることです。



今後、神藏教授が進めていこうする本番「市民救命士養成講座」は、以下のイメージです。

<まず自分自身が出来ることを学ぶ>

・胸骨圧迫 ・AEDの使用 ・異物除去

<人に教えられるように学ぶⅠ>

・応急手当の重要性 ・胸骨圧迫の指導 ・人工呼吸の指導

<人に教えられるように学ぶⅡ>

・AEDの指導 ・異物除去の指導 ・エピペンの指導

<人に教えられるように学ぶⅢ>

・その他手当の指導 ・筆記試験 ・実技試験



修了証・認定証ともにオープンバッチが発行されるといいですね



5月9日、度会町役場にて、今年度第1回目の「度会郡 4 町情報交流会」を開催しました

「地域連携ネットワークみえ」の活動がスタートした頃から続いている度会郡 4 町(玉城町、度会町、南伊勢町、大紀町)の情報交流会が、令和 6 年度第 1 回会合を行いました。

各町の今年度施策のご紹介とともに、直近のトピックスが報告され、それぞれの課題をみなさんで共有していくことで、連携を図っていただいています。



度会町からは最近導入された「文書管理システム」のご紹介。玉城町は「書かない窓口」対策の近況報告。南伊勢町は地域おこし協力隊の活動状況。大紀町は、内閣府が実施する「令和6年度地震・津波防災訓練」で全国から参加する9市町村に決定されたそうです。



5月10日、東京ビックサイトで開催の総務・人事・経理 Week 最終日のセミナーの一部をご紹介します

春は例年、全国的に多くのイベントが開催されますが、その一つに東京ビックサイトで5月8日から10日の3日間行われた「総務・人事・経理 Week」で実施されたセミナーの内容の一部をご紹介します。

【戦略総務について】

総務の顧客は従業員。だとしたらその顧客の要望にしっかりと応える必要がある。そのためには社内マーケティングが必要。社外マーケティングの顧客はお客様、社内マーケティングの顧客は従業員という考え方。

会社や組織を変える総務になるには、欠くことのできないのが、総務が行う社内マーケティングである。

それには、マーケティング3要素(認知、好意、配架)をコントロールすることが重要。「認知」は、プロモーションだから、いかに知らせるか。「好意」は、共感、参加を促すこと。「配架」は、顧客接点、届ける仕組み、組織体制。こう考えると、総務の役割を進める時の大きなヒントになるのではないだろうか。

ちなみに庶務と総務という言葉があるが、庶務は一方通行、総務は双方向という整理だそうである。総務は、①設備を整える ②フローを整える ③空気(風土・文化)を整える、ことがミッション。

【強い組織づくりについて】

SDGsの先、2030年以降の成長に向けた指標ノーススターメトリック(北極星指標)①を掲げている企業も少なくない。そのビジョンを実現していくためには、インタープレナー(越境人材)は必要不可欠。どのように社会・組織でそのような人材を育てていくかが鍵である。

インタープレナーとは、「社会起点で越境しながら働く人=越境人材」を意味しており、組織や所属の枠を越えてオープンかつフラットに対話し、共創しながら価値創造ができる個人のことを指す。

イノベーションは、今あるものの新しい組み合わせであるとして、インタープレナーでないと新しいものは生まれえないとする。

そして、そうした共創人材の3要素は、「越境性 x 自立性 x 社会性」としている。

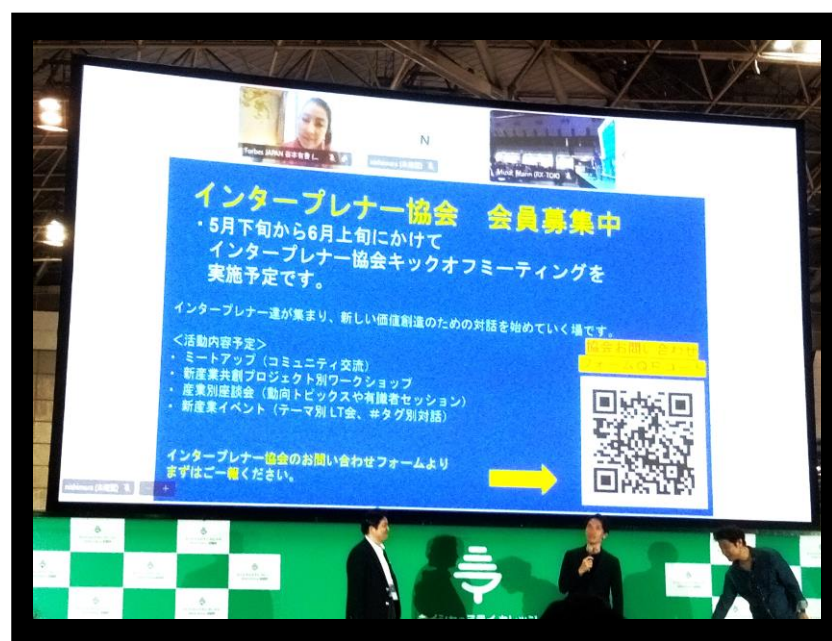
「越境性」とは、会社人でなく社会人の視点を持ち、あらゆる組織の壁を越えて行動すること。

「自立性」とは、誰かに言われたからやるのではなく、自分の目的の実現に向け、当事者意識を持って行動すること。

「社会性」とは、自分だけでなく、価値を届けたい、他者を思って社会的意義のある行動をすること。

①「チームの目標と方向性、そして成功を計る尺度」

「北極星」が方位を探すのに役立つように、この指標を通じて会社(またはプロダクト)の現状を正確に把握できるという意味で作られている。



お知らせ

地域連携ネットワークみえ交流会

地域の課題を考える

交流集会



日時 令和6年6月29日(土) 定員50名

第1部 15時～ 第2部 17時～

場所 第1部 アストラザ津4階 会議室1
第2部 ホテルグリーンパーク津1階 ル・パール

テーマ「地域交通について」 第2部は立食交流です
新しいご縁を
広げましょう！

第1部 メインスピーカー



三重県 地域連携・交通部 部長

長崎 禎和 氏



三重交通グループホールディングス株式会社

執行役員/三重交通株式会社 取締役

早川 正素 氏

参加費 第1部 無料

第2部 会員 5千円
 ヴィッフェ方式
 フリードリンク
 (アルコール含む)
 お酒を飲まれる方は車×

非会員 6千円

学生 3千円

参加申し込みは
QRコードから
6月21日まで
お願いします



一般社団法人地域連携ネットワークみえ
<https://3c-mie.net/>



ご縁を広げる交流会！ ご予定下さい